議題1 第3次千葉市農業推進行動計画の進行管理(平成30年度) について

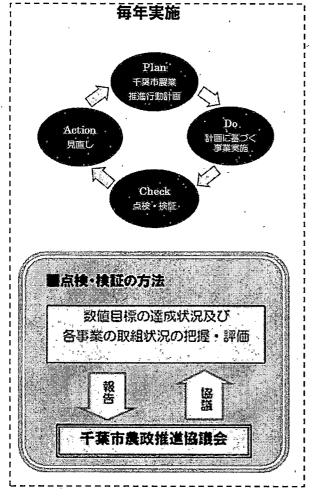
「農業推進行動計画」は、「農業基本計画」を着実に推進するための 具体的な施策を掲げたものです。計画の進捗状況や成果を点検・検証し、 必要に応じて施策内容の見直しを行い、翌年以降の施策に反映していき ます。

第3次千葉市農業推進行動計画は、平成30年3月に策定・公表いたしました。本計画に基づく平成30年度分事業の取り組み結果について、 意見聴取をお願いするものです。

1 進行管理について

(1) 進行管理の目的

農業推進行動計画を着実に推進するため、進捗状況や成果を点検・検証し、必要に応じて施 策内容の見直しを行い、翌年以降の施策に反映していく、PDCAサイクルによる進行管理を 行うとともに、市民と検証結果を共有し、「(仮称) 千葉市農林業成長アクションプラン」の策 定や、実施中の事業などに活用するものです。





農林業成長アクションプランの策定、 事業へ反映

検証結果を、アクションプランの策定、実施中の事業などに反映させる。

(2)項目

- ア 主要事業の取組状況の把握・評価【40事業】
- イ 数値目標の達成状況【22項目】

(3)方法

- ア 主要事業の取組状況の把握・評価
 - ①市民に分かりやすくするため、「A・B・C」の3段階で評価します。
 - ②各事業の取組状況を把握・評価し、次年度の取組に反映させます。 内容は次のとおりとします。

評価	内容	当年度の記載内容	翌年度の記載内容	
, A	計画門上の出用がなった	特記事項	・取組内容	
A 計画以上の成果があっ		・取組状況	· 以水比7.7 2.	
В	計画どおり実施した	・取組状況	・取組内容	
	計画どおり実施されな	・問題点	• <u>課題</u>	
	かった	・取組状況	・取組内容	

イ 数値目標の達成状況

算出方法···達成率(%)=実績値/目標値×100

(4)協議

千葉市農政推進協議会で検証結果を協議します。

(5) 公表

検証結果は、ホームページ等で毎年公表します。

第3次千葉市農業推進行動計画・進行管理票(30年度)

柱1 新鮮で安全安心な農畜産物の安定供給

方向1 生産性の向上

施策1ー営農指導の充実

主担当:農業生産振興課

施策2-技術開発の推進

主担当:農業生産振興課

施策3-生産性コストの低減

主担当:農業生産振興課

施策4一計画的な生産出荷体制の整備 主担当:農業生産振興課

施策5-価格安定化対策の推進

主担当:農業生産振興課

施策6一適切な肥培管理の推進

主担当:農業生産振興課

主要事業	30年度の取組状況	評価	31年度以降の取組内容
1 スマート農業の実現に向けた技術普及 【施策2、1、3】 <計画期間の取組内容> 農業経営を改善するため、 ICT技術やアシストスーツ を活用した講習会を開催します。	 ●特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合) ○取組状況 ・企業と連携し、 C T技術を活用した栽培環境測定システムの実証実験を実施した。 ①連携企業 2社 ②対象品目 2品目(イチゴ、トマト) ・認定農業者等に対し、農作業の軽量化を図るアシストスーツの講習会(展示試着 	3) <u>III</u>	②課題(Cの場合)② ②取組内容 ・企業と連携し、ICT技術を活用した栽培環境測定システムの実証実験を実施する。 ・得られた栽培環境データを、生育や収量等の結果と合わせて分析し、栽培講習会等を通じて市内生産者へ提供する。 ・農政センター施設を活用し、新たな技術
2 広域連携による栽培試験の実施	会)を実施した。 ①講習会 1回(2社5機種の展示試着) ②参加者 19人 ②特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合) 、		導入の可能性を検討する。 ②課題(Cの場合)
【施策2、1、3、4、20】 <計画期間の取組内容> 市域を超えた産地化を進め、農家所得の向上を図る ため、近隣市と連携して栽培試験を実施します。	△取組状況 ・市原市と連携し、アスパラガスの新たな 栽培方法について栽培試験を行った。 ・専門技術員による職員向けの講習会を開催し、広域連携として市原市職員も参加した。 ①施設園芸に関する講習会 計10回 ②市原市職員参加数 1人	B	△取組内容・市原市と連携し、アスパラガスの新たな栽培方法や有用品種を選定する栽培試験を行う。・近隣市の農政担当職員も対象とした、土壌肥料やスマート農業をテーマとした講習会を実施する。
3 農業経営に有望と	 ◆特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合) △取組状況 ・新たに供給するニンニクの系統を選抜するため、ウイルスフリー化した種苗で栽培 		◇課題(Cの場合) 必取組内容 ・新たに供給するニンニクの系統を選抜するとともに、生産現場での生育確認を行
【施策2、1、3、4】 <計画期間の取組内容> 生産性の向上を図るため、 千葉市での農業経営に適した農作物の種苗を提供します。	試験を行った。 ・本市で栽培に適したイチゴ・ワケネギ等の苗の供給を行い、生産性の向上を図った。 ①供給品目数 4品目 ・農政センターで育成し、品種登録した洋ラン(ムラサキノウスヨウ「紫苑」)の苗を供給した。 ①供給農家数 2件、計200株	В	う。 ・本市での栽培に適したイチゴ・ワケネギ等の苗の供給を行い、生産性の向上を図る。 ①供給品目数 4品目

主要事業	30年度の取組状況	評価	31年度以降の取組内容
	参特記事項(Aの場合)。問題点(Cの場合)		●課題(Cの場合)
4 農政センターの技 術指導力の強化 【施策2、21、2 5】	▲取組状況・生産者から病害虫指導等の要望に対し、迅速に対応した。		▲取組内容・生産者からの要望に対し、迅速に対応する。
<計画期間の取組内容> 農業経営の多角化により 複雑化する生産現場での 課題を、速やかに解決する ため専門技術員を配置し、 技術指導を行います。	 生産現場において、専門技術員による土壌の物理性診断や施設栽培農家の巡回指導を行った。 ①物理性診断 計5箇所②施設栽培農家巡回指導計6回 専門技術員による職員向け講習会を開催し、広域連携として市原市職員も参加した。 	В	・専門技術員による土壌の物理性診断や巡回指導を行う。 ・職員のレベルアップを図るため、専門技術員による実地研修や、職員向けの講習会を行う。
·	①施設園芸に関する講習会 計10回 ②市原市職員参加数 1人		
5 優良後継牛の確保 支援 【施策2】			●課題(Cの場合)●
<計画期間の取組内容> 乳牛の生乳生産性を向上 させるため、性判別精液や 受精卵の活用による優良 後継牛の確保支援を行い ます。	▲取組状況・優良後継牛確保対策事業により性判別精液と受精卵の購入を支援した。①性判別精液の購入 7戸(167本)②受精卵の購入 1戸(7個)・優良後継牛確保対策事業の周知を図った。①周知 周年(文書及び巡回)	В	●取組内容・優良後継牛確保対策事業により性判別精液と受精卵の購入を支援する。・上記事業の周知を図る。①周知 通年(文書及び巡回)
6 農業経営体の育成 【施策3、16、2 1、27】	◎特記事項(Aの場合):問題点(Cの場合) ◎		②課題(Cの場合) ②
<計画期間の取組内容> 安定した農業経営体を育成するため、意欲ある担い 手が、高収益な作物への 転換や経営規模の拡大を 図る際に必要な農業用機 械施設の導入・整備に対 し、経済的支援を行いま す。	 ●取組状況 ● 栽培施設、省力化機械等を導入支援した。 ● 産地パワーアップ事業(国庫事業) ①野菜栽培施設 1箇所 ②省力化機械等 1経営体 ●農業生産団地育成事業(市単独事業) ①トマト栽培施設 1経営体 ②省力化機械等 6経営体 	В	▲取組内容 ・生産性の高い農業経営体を育成するため、従来の施策に加え、国の産地パワーアップ事業を活用し、作業の効率化や省力化を図る農業用機械及び施設の整備を進める。 ・低コスト耐候性ハウスや集出荷調整施設などの導入を促進する。
7 千葉市野菜価格安定対策事業の実施 【施策5】 <計画期間の取組内容> 農業経営の安定と生産意 欲の向上を図り、市内市場 に新鮮な野菜を計画的に 供給するため、野菜価格 が低落した場合に補償金 を交付します。	●取組状況 ・ 千葉市野菜価格安定対策協議会が生産者に対して支払う補償金や、国・県の制度に参加する生産者の負担金に対して助成した。 ① 千葉市野菜価格安定対策 16品目(イチゴ外) ②野菜生産出荷安定 6品目(春夏ニンジン外) ・国の収入保険制度との重複加入に関して、関係機関(JA、共済組合等)と協議・調整し、内容の整理を進めるとともに、生産者へ周知した。	В	 ●取組内容 ・協議会が生産者に対して支払う補償金や、国・県の制度に参加する生産者の負担金に対して助成する。 ①千葉市野菜価格安定対策 16品目(イチゴ外) ②野菜生産出荷安定 6品目(春夏ニンジン外)

主要事業	30年度の取組状況	評価	31年度以降の取組内容
8 土壌診断による施肥設計の作成支援			●課題(Cの場合)●
【施策6、22、2 5】 <計画期間の取組内容> 生産性の向上を図るため、 過不足のない適正な施肥 設計を支援します。	▲取組状況・生産者に対して、土壌診断を活用した施肥設計の作成を支援した。①土壌診断 656検体②養液診断 514検体③堆肥 7検体合計 1,177検体	. B .	●取組内容・生産者に対して、土壌診断を活用した施肥設計の作成を支援する。①土壌診断 600検体②養液診断 450検体③堆肥等 10検体合計 1,060検体

方向2 地産地消の推進

施策7-市内産農畜産物の販売機会の創出 主担当:農政課 施策8-学校給食での市内産農畜産物の利用拡大 主担当:農政課 施策9-食と農の理解の促進 主担当:農政課 施策10-食の安全と消費者の信頼の確保 主担当:農政課

新規施策一千葉	市産農産物の見える化 主	担当:農政課	
主要事業	30年度の取組状況	評価	31年度以降の取組内容
9 市内産農産物の見える化			②課題(Cの場合)
【施策7、9、21、27、新規施策】 <計画期間の取組内容>地産地消の意識を醸成し、積極的に取り組む消費者を増やすため、市内産農産物が食べられる、買える場の情報を見える化し、広く情報発信します。	● 水経状況 ・秋冬ニンジン及び学校給食の取り組みの PRを実施した。 販売場所:しげのや星久喜店 1店 実施期間:平成31年1月22日~30日 内容:特設売り場開設、	В	▲取組内容 ・「千葉市地産地消推進店(つくたべ推進店)」や、「食のブランド化」事業を活用し、情報発信することで、効果的に市内産農産物が食べられる、買える場の情報の見える化を図る。
10 学校給食での市内産農産物の利用拡大【施策8】 <計画期間の取組内容>学校栄養士に対し、市内産農産物についての知識向上を図る機会を作り、給食での利用拡大を促進します。	●特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)● ・関係機関と連携し、市内産農産物の学校 給食への導入に取り組んだ。 ・市立小中学校・特別支援学校 計170校 に供給した。 ・供給8品目(ニンジン、ジャガイモ、スイカ、ホウレンソウ、コマツナ、キャベツ、 プロッコリー、コメ)	В	◇課題(Cの場合)◇取組内容・関係機関と連携し、市内産農産物の学校給食への導入に取り組む。(8品目)

主要事業	30年度の取組状況	. 評価	31年度以降の取組内容
11 消費者への「農 育」の実施	◆特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)△△○○取組状況		●課題(Cの場合) 必取組内容
【施策 9、27、2 8】 <計画期間の取組内容> 市内農業や農産物、地産 地消への関か・理解を得子 1日農家体験や出張授業 などを行い、体験学習を選 して、農業の難しさや楽し さを身に着け学ぶ"農育" を行います。	【生産者出張事業】 ・小学生を対象に、7校で7回(6教材)出張授業を実施した。対象は小学3年生(コメのみ5年生)。 ①春夏ニンジン 5月②牛乳 9月、2月③キャベツ 11月④コマツナ 11月⑤秋冬ニンジン 1月。⑥コメ 10月【親子1日農家体験】 ・落花生「おおまさり」2日実施参加者:10組31人、8組28人・秋冬ニンジン 1日実施参加者:23組79人	В	【生産者出張事業】 ・給食の共通メニュー実施に合わせた出張 授業を開催する。 7校で7回(6教材) 【親子1日農家体験】 ・落花生・ニンジンの収穫体験及び学習を 実施する。 2回
12 食の安全推進へ	参特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)		②課題(Cの場合)
の支援 【施策10】 (計画期間の取組内容) より安全で安心な農産物の 生産に取り組む生産者を 支援するため、GAP 取得 に向けた支援を行います。	▲取組状況 ・販路拡大意向を持つ農業者に対し、GAP制度の周知・啓発を図った。	D	▲取組内容 ・販路拡大意向を持つ農業者を中心にGAP取得を啓発する。 ・ちばGAPからの取得を推奨する。
13 食品表示に係る	●特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合) ・巡回調査計画件数160件のところ、計画を大きく上回る249件に対して巡回調査を実施した。(うち50件(20%)で廃業等を確認した。) 		②課題(Cの場合) ②
表示の適正化(品質事項) 【施策10】			
<計画期間の取組内容> 消費者の安全性の確保及び自主的かつ合理的な食品選択機会の確保を促すため、食品表示法に係る調査や講習会等を実施することで、表示の適正化を推進します。	● 取組状況 ・巡回調査計画を策定した。(国、県と調整) ・巡回調査件数 249件(口頭指導121件) ・講習会の開催 2回 ・表示相談件数 40件 ・情報回付件数 7件 ・食品表示担当者の研修等へ参加した。	A	△取組内容・巡回調査計画を策定する。(国、県と調整)・巡回調査 実施予定件数 125件・表示相談への対応・食品表示担当者の研修等へ参加する。

主要事業	30年度の取組状況	評価	31年度以降の取組内容
	参特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)		●課題(Cの場合)
14 「千葉市地産地 消推進店(つくたべ推 進店)登録制度の推進 【新規施策、施策7】 <計画期間の取組内容> 市内産農産物を購やすた め、市内産農産物を積極 的に使用する飲食店等を 登録PRし、地産地消の 大に繋げていきます。	△取組状況 つくたべ推進店 登録件数 40件(H31,3月末時点) (内訳:飲食店23、農産物直売所7、小売店2、食品製造販売5、食品卸売事業者3) (※参考 H30,3月末時点 27件) ・インスタキャンペーン インスタグラムに地産地消に関する写真を投稿するキャンペーンを実施した。 写真を投稿した方の中から抽選で23名に、野菜詰め合わせなどのプレゼントを実施した。 ・SNSの活用 フォロワー数:フェイスブック 252人インスタグラム 331人 ・PRイベント ZOZOマリンスタジアム、千葉湊大漁まつりにてつくたベPRを実施した。	В	△取組内容 つくたべ推進店登録制度のPRを実施する。 ・SNSの活用 フェイスブックによる情報発信を行う。 ・PRイベントを開催する。 ZOZOマリンスタジアム内「千葉つくたベキッチン」とコラボしたPRイベント等・販促グッズの作成を行う。 つくたべ推進店、農産物販売イベント用販促物の作成。のぼりセット、エプロン等 ハー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

:

第3次千葉市農業推進行動計画・進行管理票(30年度)

柱2 安定した農業経営体の育成

方向3 優良農地の確保と有効利用

施策11-優良農地の適正管理 主担当:農政課、農地活用推進課

施策12-生産基盤の整備 主担当: 農政課、農業生産振興課

施策13-農地の集積と活用の促進 主担当:農政課、農地活用推進課

施策14一耕作放棄地の解消と利活用の推進 主担当:農政課、農地活用推進課、農業生産振興課

施策14-耕作放棄地の解消と利活用の推進 主担当:農政課、農地活用推進課、農業生産振興課				
主要事業	30年度の取組状況	評価	、31年度以降の取組内容	
15 農業振興地域整	参特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)		②課題(Cの場合) ②	
備計画の変更 【施策11】	《 取組状況		△ 取組内容	
<計画期間の取組内容> 農業振興の基盤となる優 良農地の確保を図るため、 農業振興地域整備計画の 変更を行い、今後相当長	・問い合わせのあった事業者等に対して、作成したパンフレットなどにより制度の説明を行った。 ・農業振興地域整備計画の全体見直しに伴い、変更素案や県との協議関係資料を作成し	В	・農業振興地域整備計画の全体見直しについて、県との協議を進める。 ・農業振興地域整備計画の全体見直しに伴う除外等申出受付の一時停止(30年10月受付分~)について周知する。	
期にわたり農業上の利用 を図るべき区域を「農用地 区域」として定めます。	た。 ・農業振興地域整備計画の全体見直しに伴う除外等申出受付の一時停止(30年10月受付分~)について、市政だより等の広報紙への掲載やJA千葉みらい地区座談会における説明を行い、周知した。			
	∅特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合) ∅		●課題(Cの場合)	
16 農業用用排水対 策事業の推進 【施策12】	△取組状況		△取組內容	
<計画期間の取組内容> 農業経営の安定化を図る ため、北総中央用水の利 活用を推進します。また生 産性の向上を図るため、土 地改良区等に対して井戸 揚水機の電気料を補助し ます。	 北総中央用水の利活用の推進を実施した。 ①地元との懇談会 4回 ②県等関係機関との検討会 4回 ・井戸ポンプの電気料を一部助成した。 ①対象団体数 32団体 ②補助金額 6,999千円 	В	・北総中央用水の利活用の推進を実施する。 ①地元との懇談会 4回 ②県等関係機関との検討会 4回 ・井戸ポンプの電気料を一部助成する。 ①対象団体数 32団体 ②補助金額 7,000千円	
17 農道舗装整備の			②課題(Cの場合) ②	
推進 【施策12】 <計画期間の取組内容> 生産性の向上と農村生活 環境の改善を図るため、緑 農住区開発関連土地基盤 整備事業 による道路及び	▲取組状況・農道の舗装整備を実施した。①整備箇所 1箇所(若葉区川井町)②整備延長 320m・緑農住区の道路整備を実施した。①整備延長 120m	В	○取組内容・農道の舗装整備を実施する。①整備箇所 1箇所 (緑区中西町)②整備延長 300m・緑農住区の道路整備を実施する。①整備延長 220m	
農業用道路の舗装整備を行います。				

主要事業	30年度の取組状況	評価	31年度以降の取組内容
18 農地の流動化の 推進 【施策13】	●特記事項(Aの場合)、問題点(Cの場合) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		②課題(Cの場合)
<計画期間の取組内容> 農地の有効活用と担い手 への集積・集約化を図るため、農地中間管理事業や 農業経営基盤強化促進法 に基づく利用権設定等に 対し、補助金を交付します。	● 承組状況 ・農業経営基盤強化促進法に基づく農地の賃借について、期間や面積に応じて助成した。 ①件数 33件 ②対象面積 23.7ha また、農地中間管理事業により、認定農業者等の地域の担い手に農地の利用集積が図られた。 ①地区 小食土工区管理組合、平山西部水利組合 ・農地の貸し借り方法のパンフレット及びフローチャートを事業周知のため活用した。	В	△取組内容・4つの農地の貸し借り方法のパンフレット及び農地の貸し借りのYes-Noフローチャートにより事業を周知し、農業経営基盤強化促進法や農地中間管理事業に基づく補助金の交付等により、農地の賃借を促進する。
19 耕作放棄地の未 然防止と利用促進	●特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)		②課題(Cの場合) ②
【施策14】 <計画期間の取組内容> 耕作放棄地の未然防止及 び解消を促進するため、農 地の貸し借りを推進すると ともに、耕作放棄地の再生 に対し、補助金を交付しま す。	①解消件数 1件 ②解消面積 ○ 10ba		▲取組内容・市の補助事業等を活用し再生利用を促進する。①解消面積 O.7ha

方向4 意欲ある担い手の確保・推進

施策15-認定農業者の育成 主担当:農業経営支援課、農業生産振興課、農政課、農地活用推進課

施策16一新たな担い手の確保・育成 主担当:農業経営支援課、農地活用推進課

施策17一「家族経営協定」の推進 主担当:農業経営支援課

施策18-農業経営体の法人化への推進 主担当:農業経営支援課、農地活用推進課

主要事業	30年度の取組状況	評価	31年度以降の取組内容
20 認定農業者の 「人・農地プラン」 における中心経営体 への誘導			②課題(Cの場合) ②
【施策15】 <計画期間の取組内容>認定農業者が各種支援制度を利用して経営改善できるよう、説明会などを開催し、「人・農地プラン」における今後の地域の中心となる経営体へ誘導します。	 ▲可報状況 ・「人・農地プラン」(緑区)に新たに細分化地区を2地区設定した。 【細分化地区】2地区(小食土地区・平山西部地区) ・全3地域の「人・農地プラン」について内容見直しを行った。 【地域話し合い回数】3回 【細分化地区設定に向けた集落等での話し合い回数】3回 【中心経営体(新規)】11経営体 ※市外転出した1経営体をプランから除外。 	В	 ○取組内容 ・地域特性を活かした土地利用計画により、 細分化地区の設定を積極的に進め、地域の安 定した経営に資するプランづくりを目指す。 ・新たな地域の中心となる経営体の追加を推 進する。
21 経営能力・販路 拡大に対する支援			②課題(Cの場合) ②
【施策15、16、18、20】 <計画期間の取組内容>認定農業者や農業後継者等を対象に、今後の農業経営に必要とされる情報を提供するとともに、販路拡大等を支援するため、経営技術の専門家や販売・加工など消費を目線を持つきます。	● 必取組状況 ・認定農業者や農業後継者を対象に、農業部門に関わる企業の担当者を講師に招き、講習会を開催した。 ①講習会開催数 1回(10月) ②法人化数(新規) 3経営体 ((㈱平山パールフィールド) ((㈱さんたファーム) ((同)めぇもんけぇ)	B	△取組内容・農業委員会や県農業会議と連携し、認定農業者等の法人化を支援する。①講習会開催数 1回

主要事業	30年度の取組状況	評価	31年度以降の取組内容
	参特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)		②課題(Cの場合) ②
22 新規就農者等の 確保・育成 【施策16、1、3】			
<計画期間の取組内容> 多様な担い手を確保・育 成するため、農業技術・経 営方法等を学ぶ研修や営	△取組状況		△ 取組内容
農指導を行います。また、 就農初期の定着を支援す るため、国の農業次世代 人材投資資金を交付する	・新規就農希望者を広域的に確保するため、 近県の農業系大学への訪問PR(2校)や募 集案内配布によるPR(18校)を行った。 ①研修受講者数 9人	a.com/doctor	・近県の農業系大学などに訪問PR等を行う ほか、都内の就農イベントに出展し、広域的 な新規就農者の確保・育成を図る。 研修受講者数 4 人
はか、就農初期の農地の 再生整備に要する経費に 対し、助成します。 ①広域的なPRによる新規	(1年目4人、2年目1人、3年目4人) ②巡回指導 12回 ・新規就農者の早期の経営確立を図るため、	B :	(1年目5人、2年自3人、3年目1人) ・新規就農者の早期の経営確立を図るため、 農業次世代人材投資資金を交付する。
① 広域的なアドによる利規 就農者の確保 ② 新規就農希望者研修 ③ 新規就農地再生支援事業	農業次世代人材投資資金を交付した。 ①交付人数 25人 ②交付総額 3,150万円		①交付人数 30人 ②交付総額 3,900万円
金(旧青年就農給付金)の 交付	•		
	②特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合) ②		●課題(Cの場合)
23 家族経営協定の 推進 【施策17】			ð
<計画期間の取組内容> 女性農業者や農業後継者	△取組状況	. B	△取組内容
の経営参画、円滑な経営 承継等を促進するため、関 係機関と連携し、家族経営 協定の締結を推進します。	・女性農業者や農業後継者の経営参画、円滑 な経営承継等を促進するため、関係機関と連 携し、家族経営協定の締結に結びつけた。 ①新規締結件数 2件		・女性農業者や農業後継者の経営参画、円滑 な経営承継等を促進するため、関係機関と連 携し、家族経営協定の締結を推進する。 ①新規締結件数 2件

方向5 農家所得の向上

施策19-6次産業化の推進

施策20-販路拡大の支援

主担当:農政課

主担当:農政課、農業経営支援課

施策21-千葉市ブランドの確立

主担当:農政課

主要事業	30年度の取組状況	評価	31年度以降の取組内容
	◎特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)		②課題(Cの場合)
	・市街化調整区域内での開発行為を行うにあ たり課題がある。		・個別の課題に合わせた開設支援が必要である。
	①排水先がない ②接道の幅員が不足するケースが多い		・ハード面の条件
	・農家レストラン開設者要件を満たせず、農		①排水先の確保 ②接道の幅員
24 農家レストラン 開設支援及びPR	家自らが開設することが困難な事例が多い。		が満たない場合は開設が困難である。
【施策19、27、新規施策】	・農家レストランの開設相談支援を行った。		<u>の</u> 取組内容 ・農家レストランの開設相談支援及びPRを
	①開設相談対応 3件		行う。 ①農業者の農家レストランの開設相談支援
<計画期間の取組内容 > 6次産業化による農家所		C	②開設された場合のPR支援 つくたべ推進店への登録など
得の向上及び市民が農と 触れ合う新たな機会の創			ンへに、推進店への豆球はこ
出を図るため、市内産農産物を使用する農家レストラ			
ンの開設支援やPRを行い ます。	÷		
	•		
			·
	参特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)		②課題(Cの場合) ②
			,
25 マーケットイン	△取組状況		△取組内容
志向生産者の支援 【施策20、15、	・包括提携協定に基づく小売企業とのフェア を開催した。		・千葉市産農産物の見える化を推進するた め、包括提携協定に基づく企業とのフェアを
16]	①千葉市フェア (イオンスタイル幕張新都心)		開催する。 ①イオン 千葉市フェア
<計画期間の取組内容>	ニンジン他、市内産品の販売・PR	В	②イトーヨーカ堂 3市連携物産展
消費者ニーズを把握して いくため、飲食・小売業者	市長によるトップセールス ②地域産品フェア		・農政部と経済部の連携により市内産品の魅力を向上させ、販路拡大につながるブランド
と生産者が交流する機会 を創出するなど、市内産農	(イトーヨー力堂 5店舗) 千葉市・市原市・四街道市連携による		化を進める。
産物の販路確立・拡大に 向けた取組を支援します。	3市産品の販売・PR ③うまいものフェア(そごう千葉店)		
	3市連携による3市産品の販売・PR		
,-			·
· ·			

主要事業	30年度の取組状況	評価	31年度以降の取組内容
26 伝統野菜の継承	◎特記事項(Aの場合),問題点(Gの場合)		②課題(Gの場合) ②
【施策21】 <計画期間の取組内容> 土気からし菜など、地域に根付く伝統野菜の継承と ブランド化を図をとングランド化を図をとングランド化を図をとかターで行うとともに、栽培技術講習会の開催を通じ、生産活動を支援します。併せて、認知度向上による消費拡大を推進します。	・伝統野菜の土気からし菜及び伝統料理「いももち」を普及するため、料理教室を開催した。 ①「いももち」教室 ②土気からし菜漬物教室 2回 ・土気からし菜の生産者のグループを支援し、生産を継続する体制を整えた。 ・市内小学校にて、からし菜生産者の出張授業を実施した。 ・子ども向けワークショップ(こども企画課主催)にて、いももち作り教室の講習を実施した。		・土気からし菜といももちの料理教室を開催する。 ①「いももち」教室 1回②土気からし菜漬物教室 2回・飲食店等に土気からし菜のPRを行い、販売を促進する。・土気からし菜の共通理解とブランド保護のため、関係者間で取り交わす覚書を作成し、周知する。

方向6 環境にやさしい農業の推進

施策22ー健全な土づくりの推進 主担当:農業生産振興課

施策23-家畜排せつ物の適正な管理 主担当:農業生産振興課

施策24-堆肥の有効利用 主担当:農業生産振興課

施策25ー減農薬の推進 主担当:農業生産振興課

主要事業	30年度の取組状況	評価	31年度以降の取組内容
27 家畜排せつ物の 適正管理と堆肥利用 の促進 【施策23、24】 <計画期間の取組内容> 家畜排せつ物の。畜産機の を推進するため、主要を指進するとも に、耕種農家に対対し、家 畜堆肥の利用を促進しま す。	 ○特記事項(Aの場合)。問題点(Cの場合)。 ○ 家畜排せつ物処理状況の巡回指導を実施した。 ①巡回 通年 ②適正処理指導 7件 		 ●課題(Cの場合)● ●家畜排せつ物処理状況の巡回指導を実施する。 ①巡回 通年 ・家畜ふん堆肥の利用状況を確認し、巡回指導を通じて耕種農家に情報提供する。 ①情報提供 通年

第3次千葉市農業推進行動計画・進行管理票(30年度)

柱3 農村と森林の持つ多面的機能の活用

方向7 都市と農村の交流促進

施策26-いずみグリーンビレッジ事業の推進

施策27ー農とふれあう機会の充実(市民農園・体験農園・観光農園)

施策28-教育現場での農業の活用

施策29ー情報の提供

主担当:農業経営支援課

主担当:農政課、農業経営支援課

主担当:農政課

主担当:農政課

ルスとう「行形の形成の				土担日 .
主要事	業	30年度の取組状況	評価	31年度以降の取組内容
28 いずみグリー レッジ3拠点施 活用した地域の	-ンビ 設を			●課題(Gの場合)
化 【施策26】		☑取組状況		必取組內容
<計画期間の取組にいずみ地区の更なる化を図るため、3拠、 が施策を推進するとに、地域資源を活用生による地域おこしどを行います。	る活性 点を繋 とも 引し、学	 ・いずみ地区の3拠点施設の連絡会議を開催した。 ①連絡会議開催数 1回(3月) ・大学生の自由な発想で、地域のPRや魅力発信イベントを実施した。 ①イベント実施回数 1回(10月) ・野呂地区において泉自然公園を利用した農作物の直売会や農政センターでの市民農園利用者養成講座を実施した。 ①直売会開催数 1回(11月) ②市民農園利用者養成講座 15回 	В	 ・いずみ地区の3拠点施設連絡会議を開催する。 ①連絡会議開催回数 1回 ・大学生の自由な発想で、地域のPRや魅力発信イベントを実施する。 ・野呂地区での催しや講座を実施する。 ①直売会開催回数 1回 ②市民農園利用者養成講座 15回
29 「ふれあい 場」としての乳・	1 の			②課題(Cの場合) ②
成牧場の活用 【施策27】 <計画期間の取組 農畜産に対する市民 解を深めるため、乳 牧場を活用し、搾乳 など家畜や自然との あいの場」の導入に 検討します。	内容> 民の理 牛育成 体験 かふれ	必取組状況 ・グリーンツーリズムを推進する観光拠点とするため、預託事業を含めて民間活力を導入する事業スキームについて検討を行った。		必取組内容 ・グリーンツーリズムを推進する観光拠点とするため、預託事業を含めて民間活力を導入する事業スキームについて検討を進め、方針を決定する。

主要事業	30年度の取組状況	評価	31年度以降の取組内容
	参特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)		②課題(Cの場合)
30 農業体験の参加・利用の促進 【施策27】			·
<計画期間の取組内容>市民が気軽に農業に触れられる機会として、農業体験企画の実施や支援を行うとともに、観光農園・市民農園などの農業体験施設のPRや利用を促進します。	 ○取組状況 ・市民農園開設を希望する地権者からの相談に応じ、新規開設に向け支援した。 ・観光農園や直売所の利用を増やずため、写真撮影用の看板を配布し、SNSへの発信を利用者に促した。 ・親子1日農家体験を開催した。落花生(2回) 参加者18組 秋冬二ンジン(1回) 参加者23組 	В	▲取組内容・市民農園利用者養成講座を開催し、市民農園利用者の確保を促進する。・観光農園情報について、観光部署と連携して情報発信を行う。・親子一日農家体験を開催する。
31 農業体験サポーターの活用	参特記事項(Aの場合)、問題点(Cの場合)		②課題(Cの場合) ②
【施策27、29】 <計画期間の取組内容>本市の農業に愛着を持った市民を農業体験サポーターとして登録し、地産地消の推進や農業体験等の運営及び情報発信を行います。	・親子1日農家体験実施時に、試験的にボランティアを募集。 参加者1人	В	 必取組内容 ・農業体験サポーターの周知・確保 千葉市生涯現役応援センターが実施しているボランティアセミナーにて、親子1日農家体験や農業体験サポーターについて周知し、ボランティアの獲得を図る。

方向8 農村環境の整備と保全

施策30-快適な農村環境の整備

主担当:農政課

施策31ー美しい農村景観づくり

主担当:農業生産振興課

施策32-集落機能の維持

主担当:農政課

施策33-有害鳥獣対策の推進

主担当:農業生產振興課

主要事業	30年度の取組状況	評価	31年度以降の取組内容
			②課題(Cの場合)
32 農村の水環境の保全 (加策30)			
<計画期間の取組内容>地域住民の安らぎやふれあいの場として利用されている水環境施設(親水施設)の維持管理を行います。また、公共用水域の水質保全を図るため、農業集落排水事業を継続します。	△取組状況・ゆとりと潤いのある場として利用されている水環境施設(親水施設)の維持管理を行った。①杉山地区 1.2ha②大池地区 2.2ha	В	必取組内容・ゆとりと潤いのある場として利用されている水環境施設(親水施設)の維持管理を行う。①杉山地区 1.2ha②大池地区 2.2ha
	♥特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)		●課題(Cの場合)●
33 景観形成作物の 取組に対する支援 【施策31】	◇ ·取組状況		必取組內容
<計画期間の取組内容> 都市住民に憩いと安らぎ の場を提供するため、ヒマ ワリ、ハナナ、コスモス等の 景観形成作物の種子を農 家に配布します。	・ヒマワリ、コスモス、ハナナ等の景観形成用作物の種子を取組農家へ配布した。 ①取組面積 908a ②取組農家・組合数 18戸	В	・ヒマワリ、ハナナ、コスモス等の景観形成用作物の種子を取組農家に配布する。 ①取組面積 1,000a
			②課題(Cの場合)
34 集落保全活動の維持・支援			
【施策32】 <計画期間の取組内容> 農業・農村が有する良好な 景観及び自然環境の保全	企取組状況		△取組内容
等、多面的な効果を発揮させるため、地域で保全活動を実施している組織に	・7地区に対し、活動の継続を支援した。 ①説明会・意見交換会 2回(7月、1 月)	В	・8地区に対し、活動を支援する。 ・活動に向け、新規活動組織の掘り起しと説 明を行う。
支援を行うとともに新たな 活動組織の掘り起しを行 います。	②安全研修会 1回(2月) ③活動の手引き送付 2回(10月、1月) ④現地確認 2回(10~11月、2月) ⑤個別相談 随時 ⑥新規地区支援 9月		①活動組織及び新規活動組織説明会 ②個別相談 ③現地確認
	·		

主要事業	30年度の取組状況	評価	31年度以降の取組内容
\	 ◆特記事項(Aの場合)。問題点(Cの場合) ・新たに、イノシシの棲み家となる耕作放棄 地等の刈払い作業に対し助成した。 ・緊急対策用にイノシシ用電気柵を2台導入 し、貸し出しを行った。 ・地域が主体となった捕獲や鳥獣の生息しに くい環境管理を進め、新たに狩猟わな免許取 得者を確保した。(予定7人→取得者9人) 		②課題(Cの場合)
35 地域住民を中心とした有害鳥獣対策では、一次で有害鳥獣対策のでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	・千葉市鳥獣被害防止対策協議会が取り組む 捕獲や侵入防止に係る経費を助成した。 ①イノシシ捕獲活動(緑・若葉区) 捕獲 65頭、箱わな設置 23基 電気柵設置 約9.5km ②カラス捕獲活動(花見川・緑区) 捕獲 103羽、箱わな設置 2基 ③アライグマ・ハクビシン捕獲活動 (緑・若葉図) 捕獲 19頭、箱わな設置 30基 ・地域住民による、イノシシの棲み家とまた、 農業委員、農地の地域の有害鳥獣対ための 連携しして、刈払い活動を実施した。 ①面積 約12ha(4地区) ・「農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー」 を支援した。 ・約猟わな免許取得者に対して費用の一部を も対猟わな免許取得者数 9人		● 取組内容 ・イノシシ、カラス、アライグマ及びハクビシンの捕獲や侵入防止、環境管理(耕作放棄地刈払い等)など被害防止対策に対して助成する。 ・イノシシ用箱わなに監視カメラを設置し、効果的に捕獲する。 ・加えてIoT関通知システムを導入し、捕獲業務に係る巡回の負担軽減を図る。 ・専門的なノウハウを有する「農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー」を活用し、地域の実情にあわせた被害防止体制を支援する。

方向9 健全な森林づくりの推進

施策34-優良な森林の整備推進 主担当:農業経営支援課 施策35-価値ある森林づくりの推進 主担当:農業経営支援課 施策36-森林病害虫対策の推進 主担当:農業経営支援課

主要事業	30年度の取組状況 編	評価	31年度以降の取組内容
36 森林の適正管理	参特記事項(Aの場合)、問題点(Cの場合)		②課題(Cの場合) ②
及び木材利用の推進 【施策34、35、 36】 <計画期間の取組内容> 千葉市森林整備計画に基づいた各森林整備事業 (補助事業)を実施するとともに、公共建築物等への地域産木材利用を推進します。	●取組状況 ・森林整備事業に対して助成した。 ①下刈 1.75ha ②枝打 3.99ha ③間伐 1.71ha ④伐倒搬出 0.42ha ⑤植栽 0.13ha	B	△取組内容 ・千葉市森林整備計画に基づき、造林、下 刈、枝打、間伐、間伐材搬出等の森林整備事業や、サンブスギ溝腐病の被害を受けた森林の被害木の伐倒搬出等に助成する。 ・木材利用促進に向けたPRを行う。
	・公共建築物等の整備について、積極的に千 、葉県産材の活用に努めるよう関係部局に依頼 した。		V

方向10 森林にかかわる人づくりの推進

施策37-森林への関心の向上

主担当:農業経営支援課

施策38-森林ボランティアの育成と活動の支援

主担当:農業経営支援課

施策39一森林所有者の組織の育成と強化

主担当:農業経営支援課

主要事業	30年度の取組状況	評価	31年度以降の取組内容
			●課題(Cの場合)
37 林業体験教室の実施 「施策37】 <計画期間の取組内容>森林の持つ機能や役割について市民の理解を深めるため、きのこの栽培体験や、森林管理技術の講習会を開催します。	△取組状況・干葉市森林組合及び干葉県北部林業事務所 印旛支所の協力により、森林管理についての 講習や、チェーンソーを用いた間伐体験、ヒ ラタケの栽培講習を実施した。①参加者数 18人		△取組内容・千葉市森林組合及び千葉県北部林業事務所 印旛支所の協力により、林業体験教室を実施 する。①募集定員 20人
38 森林ボランティア 活動の支援	令特記事項(Aの場合)、問題点(Cの場合)		●課題(Cの場合)
【施策38】 <計画期間の取組内容>森林で活動するボランティア団体を支援するため、技術研修の機会を設けるとともに、活動状況の情報発信等を行います。	● 取組状況 ・各種研修会を開催した。 ①技術研修会(1回)10人 ②安全研修会(1回)19人 ・森林ボランティア団体に対して千葉市里山の保全管理団体報奨金を交付した。(20円/㎡ 限度額200千円/団体) ・①交付団体数 2団体	Œ	●取組内容・森林整備活動を行う森林ボランティア団体に対し、研修会、講習等で活動を支援する。①技術研修会②安全研修会・森林ボランティア団体に対して干葉市里山の保全管理団体報奨金を交付する。
39 森林組合の育成強化 【施策39】 <計画期間の取組内容>森林整備の中心的担い手である森林組合の育成強化のため、施業計画の作成などを行う林業技術員の設置に係る費用等を助成します。	 ●特記事項(Aの場合)、問題点(Cの場合) ●	B	 ○課題(Cの場合) △取組内容 ・森林組合が実施する森林整備事業(造林等)に対して助成する。 ・森林組合の組織強化対策に対して助成する。 ①作業班育成強化事業 ②広報宣伝事業 ③執行体制強化事業

方向11 森林の多面的機能の活用

施策40-里山地区の保全

主担当:農業経営支援課

施策41一森林と農業の連携

主担当:農業経営支援課

施策42一教育の森と市有林の活用

主担当:農業経営支援課

主要事業	30年度の取組状況	評価	31年度以降の取組内容
4〇 里山地区の保全の推進【施策4〇、41、42】 <計画期間の取組内容〉 里山の有する多面的機能の維持増進及び景観を保全するため、企業や多様な人々の参画による保全活動を支援します。	②特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合) ②取組状況 ・里山地区4箇所について森林ボランティア団体などの協力により、保全活動を行った(定例作業は月4日~5日)。	B	●課題(Cの場合)● ●課題(Cの場合)● ・現在ある里山地区について、ボランティア団体と共に維持管理に努める。 ・里山への理解を深め、多くの市民が保全活動に参画できるよう、保全活動を行う団体を育成するほか、ボランティア団体が主催する市民向けイベントなどを支援する。

3 主要事業 評価一覧

	方向	施策	主要事業名	A	評価 B C	担当課
		1 営農指導の充実	1 スマート農業の実現に向けた技術普及 [2、1、3]	1	0	農業生産振興課
П		2 技術開発の推進	2 広域連携による試験栽培の実施 【2、1、3、4、20】	<u>. į</u>	0	農業生産振興課
1		3 生産コストの低減 .	3 農業経営に有望となる種苗の供給 【2、1、3、4】	- 	0	農業生産振興課
	1 生産性の向上	4 計画的な生産出荷体制の整備	4. 農政センターの技術指導力の強化【2、21、25】	- 	0	農業生産振興課
ŀ		5 価格安定化対策の推進	5 優良後雑牛の確保支援 [2]	•	0	農業生産振興課
		6 適切な肥培管理	6. 農薬経営体の育成 【3、16、21、27】	- 	0	- 農衆生産振興課
		1	7 千葉市産野菜安定対策事業の実施 [5]	 	0	農業生産振興課
			8 土壌診断による施肥設計の作成支援【8、22、25】	<u>i</u>	0 -	農業生産振興課
	····	7 市内産農畜産物の販売機会の創出	9 市内産農産物の見える化 【7、9、21、27、新規施策】	· ·	ТоТ	農政課
1	<u> </u>	8 学校給食での市内産展育産物の利用拡大	10 学校給食での市内産農産物の利用拡大 [8]	<u> </u>	0	農政課
	2 地産地消の推進	9 食と農の理解の促進	11 消費者への「農育」の実施 [9、27、28]	-¦	0	農政課
		10 食の安全と消費者の信頼の確保	12 食の安全推進への支援【10】	- 	0	
		【新規】千葉市産農産物の見える化	16 食品表示法に係る表示の適正化(品質事項)。[10]	10		最政 陳
,		2417782 1 34-11 (2004) (31-4-70) (-0.18	14 干薬市地産地消推進店(つくたべ推進店)登録制度の推進 [新規施策、7]		0	農政課
1		11 優良農地の適正管理	15	- i	0	展地活用推進課
	<u> </u>	12 生産基盤の整備	16 農業用用排水対策事業の推進【12】	<u> </u>	0	農政課・農業生産振興調
	3 優良農地の確保と有効利用	13 農地の象積と活用の促進	17 展道舗装整備の推進【12】	¦	 	展 展 展 展 展 展 展 展 展 展 展 展 展 展 展 展 展 展 展
		14 耕作放棄地の解消と利活用の推進	18 展地の流動化の推進 【13】		0	i
'	<u> </u>	17 ATTEMAXASOMMCではロロリー・	19 耕作放棄地の未然防止と利用促進【14】	† –	0	農業生産振興課・農地活用推
١.				•		
		15 認定農業者の育成	20 認定農業者の「人・農地プラン」における中心経営体への誘導 【15】	- `	0	. 農地活用推進課
\vdash	4 意欲ある担い手の確保・育成	16 新たな担い手の確保・育成	21 経営能力・販路拡大に対する支援 【15、16、18、20】	į	0	農業経営支援課
		17 「家族経営協定」の推進	22 新規就義者等の確保・育成 [16、1、3]		0	農業経営支援課
1		18 農業経営体の法人化の推進	23 家族経営協定の推進 【17】	<u> </u>		農業経営支援課
- 1		19 6次産業化の推進	24 農家レストラン開設支援及びPR 【19、27、新規施策】		0	農政課
	5 農家所得の向上	20 販路拡大の支援	25 マーケットイン志向生産者の支援 【20、15、18】		0	農政課
l		21 千葉市ブランドの確立	26 伝統野菜の雑承 [21]	!	0	農政課
- 1		22 健全な土づくりの推進	27 家畜排せつ物の適正管理と堆肥利用の促進 【23、24】	[0	農業生産振興課
_	6 環境にやさしい農業の推進	23 家裔排せつ物の適切な管理				
	0 対象にできる。 過剰の温度	24 堆肥の有効利用				
I	·	25 減農薬の推進	- .			
		26 いずみグリーンビレッジ事業の推進	28 いずみグリーンビレッジ3拠点施設を活用した地域の活性化 【26】	ī -	0	農政課
	2. 数主1.重量0.充进22.3	27 農とふれあう機会の充実(市民農園・体験農園・観光農園)	29「ふれあいの場」としての乳牛育成牧場の活用 【27】	1	0	農業生産振興課
\vdash	7 都市と農村の交流促進	28 教育現場での農業の活用	30 農業体験の参加・利用の促進 【27】	i	0	農政課
		29 情報の提供	31 農業体験サポーター制度 [27、29]	1	0	農政課
		30 快適な農村環境の整備	32. 農村の水環境の保全 [30]	1	0	農政課
	0. 股份现在的数据1.77人	31 美しい農村景観づくり	38 景観形成作物の取組に対する支援 【31】	i	0	農業生産振興課
	8 農村環境の整備と保全	32 築落機能の維持	34 集落保全活動の維持・支援 【32】	i	0	展政課
[33 有害鳥獣対策の推進	35 地域住民を中心とした有害鳥獣対策への支援 [33]	0		農業生産振興課
ſ		34 優良な森林の整備推進	36 森林の適正管理及び木材利用の推進 [34、35、36]	1	0	農業経営支援課
$\vdash \vdash$	9 健全な森林づくりの推進	35 価値ある森林づくりの推進				·
ıl		36 森林病害虫対策の推進				
L		37 森林への関心の向上	37 林棄体験教室の実施 【37】	į	0	農業経営支援課
			38 森林ボランティア活動の支援 [38]	+	0	農業経営支援課
	10 森林にかかわる人づくりの推准	38 森林ボランティアの夏成と活動の支撑		-1		
	10 森林にかかわる人づくりの推進	38 森林ボランティアの育成と活動の支扱 39 森林所有者の組織の育成と強化	69 森林組合の育成強化 【39】	<u> </u>	0	農業経営支援課
 	10 森林にかかわる人づくりの推進	39 森林所有者の組織の育成と強化		<u>i</u>		
	10 森林にかかわる人づくりの推進		33 森林組合の育成強化 [39] 40 里山地区の保全の推進 [40、41、42]	!	0	展集経営支援課

各主要事業については、 【 】に紐付られた施策を 配入。なお、中心となる施 策を最初に記載。

4 数値目標の実績及び達成率一覧

項目	策定時 (甲成29年3月未現在)	30年度実績 (平成31年3月末)	目標 (平成33年3月末)	達成率		関連する (より関連性の高いもの
(1)新規種苗供給品目数	_	i . I O品目	1品目	.0%	i I ×	2 技術開発の推進 1 営農指導の充実
(2)認定農業者の平均所得	3,030千円	3,269千円	3,300千円	99.1%	Δ	3 生産コストの低減 2 技術開発の推進 15 認定農業者の育成
(3)認定農業者の平均労働時間	2,513時間	2,413時間	2,513時間	96,0%	Δ	3 生産コストの低減 2 技術開発の推進 15 認定農業者の育成
(4)認定農業者の農産物生産量	63,755kg	i 63,987kg	70,130kg	91.2%	Δ	1 営農指導の充実 2 技術開発の推進 3 生産コストの低減
(5)農業用機械施設導入支援対象者の経営面積増加率	100%	103%	î 1 110%	93.6%	Δ	3 生産コストの低減 13 農地の集積と活用の
(6)販売機会支援実施日数(フェア・朝市・ふれあい市)	85日	107日	i 1 120日	i I 89.2% I	Δ	7 市内産農畜産物の販売 20 販路拡大の支援 21 千葉市ブランドの確立
(7)地產地消推進店登録店数	_	i I 40件	i ! 60件	ř I 66.7%	i ×	7 市内産農畜産物の販売 20 販路拡大の支援 21 千葉市ブランドの確立
(8)食品表示に係る巡回調査件数(品質事項)	50件/年	1 249件/年	I I 100件/年	249.0%	0	10 食の安全と消費者の
(9)担い手の借入農地面積	161ha	1 1 212ha	1 I 201ha	105.5%	0	- 13 農地の集積と活用の 15 認定農業者の育成
(10)「人・農地プラン」における今後の地域の中心となる経営体に 位置づけた認定農業者数	8経営体	 	20経営体	105.0%	0	15 認定農業者の育成
(11)新規認定農業者数	5経営体/年	4経営体/年	5経営体/年	80.0%	Δ	15 認定農業者の育成
(12)新規就農希望者研修による就農者数	4経営体/年	4経営体/年	5経営体/年	80.0%	Δ	16 新たな担い手の確保
(13)農業次世代人材投資資金の新規交付者数	5経営体/年	5経営体/年	5経営体/年	100.0%	0	16 新たな担い手の確保
(14)家族経営協定の新規締結件数	3件/年	2件/年	2件/年	100.0%	0	17「家族経営協定」の推
(15)いずみグリーンピレッジ3拠点施設の来場者数	192,134人/年	198,988人/年	200,000人/年	99.5%	Δ	26 いずみグリーンピレッジ 27 農とふれあう機会のぎ
(16)学生による地域おこし事業の回数	_	1回/年	1回/年	100.0%	0	26 いずみグリーンビレッシ
(17)市民農園利用率	80%	83%	84%	98.8%	Δ	27 農とふれあう機会のず 29 情報の提供
(18)農業体験の参加者数	76,000人/年	75,510人/年	79,500人/年	95.0%	Δ	27 農とふれあう機会の充 29 情報の提供
(19)農業体験サポーター会員数	_	0人	20人	.0%	×	29 情報の提供 27 農とふれあう機会の充
(20)鳥獣対策に取り組む地域協議会数	2団体	3団体	5団体	60.0%	×	33 有害鳥獣対策の推進
(21)農家の狩猟免許取得者数	1人	9人	10人	90.0%	Δ	33 有害鳥獣対策の推進
(22)市と協定などを締結し、森林整備を行う森林ボランティア数	122人	110人	122人	90.2%	Δ	38 森林ボランティアの育

関連する施策 (より関連性の高いものを上位に記載)	主担当課
2 技術開発の推進 1 営農指導の充実	農業生産振興課
3 生産コストの低減 2 技術開発の推進 15 認定農業者の育成	農業経営支援課
3 生産コストの低減 2 技術開発の推進 15 認定農業者の育成	農業経営支援課
1 営農指導の充実 2 技術開発の推進 3 生産コストの低減	農業生産振興課
3 生産コストの低減 13 良地の集積と活用の促進	農業生産振興課
7 市内産農畜産物の販売機会の創出 20 販路拡大の支援 21 千葉市ブランドの確立	農政課
7 市内産農畜産物の販売機会の創出 20 販路拡大の支援 21 千葉市プランドの確立	農政課
10 食の安全と消費者の信頼の確保	農政課
13 農地の集積と活用の促進 15 認定農業者の育成	農地活用推進課
15 認定農業者の育成	農地活用推進課 ↓
15 認定農業者の育成	農業経営支援課
16 新たな担い手の確保・育成	農業経営支援課
16 新たな担い手の確保・育成	農業経営支援課
17「家族経営協定」の推進	農業経営支援課
26 いずみグリーンピレッジ事業の推進 27 農とふれあう機会の充実	農業経営支援課
26 いずみグリーンピレッジ事業の推進	農業経営支援課
27 島とふれあう機会の充実 29 情報の提供	農政課
27 農とふれあう機会の充実 29 情報の提供	農政課
29 情報の提供 27 農とふれあう機会の充実	農政課
33 有害鳥獣対策の推進	農業生産振興課
33 有害鳥獣対策の推進	農業生産振興課
38 森林ポランティアの育成と活動の支援	農業経営支援課